1					О

この調査は、総務省の承認 を得た統計調査です。

承認番号 26277

承認期限 平成 18 年 3 月 31 日 (秘)

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 物流実態アンケート

国土交通省近畿地方整備局 滋賀県京都府 大阪府 兵庫県 奈良県和歌山県 京都市 大阪市 神戸市西日本高速道路(株)関西支社阪神高速道路(株) 都市再生機構

記入についてのお願い

- このアンケート調査は、将来の物の輸送等に関する総合的な交通計画を立案するための 基礎資料とさせていただくものです。御協力をよろしくお願いします。
- 各質問項目は、**本アンケートが届いた貴事業所に関する内容**に限定してお答えください。 他の事業所(貴事業所の他の支店、他の営業所等)の内容は含めないでください。
- 同封の返送用封筒にて12月2日(金)までにポストにご投函ください。
 - ・ 搬出入状況など量的な質問の記入にあたっては、1日あたりの貨物流動に関してご記入ください。なお、1日あたりの貨物流動は、平成17年9月の1_ヶ月の合計値から営業日1日あたりの平均値としてご記入ください。
 - ご記入しにくい質問などございましたら、貴事業所の関連部署や委託先等にご確認いただき、 ご記入ください。
 - ・ 回答は、 の部分(色のついたところ)にご記入ください。記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
 - ・ なお、ご記入いただいた内容をそのまま公表したり、本調査の目的以外に使用することはあり ません。

く問い合わせ先>

京阪神都市圏総合都市交通体系調査 調査実施本部

T000-0000 000000

000000000000

フリーダイヤル 0000-000-000

(午前9:00~午後6:00 、土曜・日曜・祝祭日を除く)

アンケート	所属部署	電話番号	
記入者	お名前	E-Mail	

問1. 貴事業所の概況についてお答えください

①. 貴事業所の概要について下表へご記入ください。

会	社 及	び	事 業	纟所	名						
事	業	所	所	在	地	₸					
業					種		(下の <業	種分類表	そ> の番号をご記入くだ	さい)	
従	業	į	者		数	【総従業者数】		人	【うち正社員数】	人	
年	間	出	1 7	苘	額	百万	百万円(平成 16 年度実績)				

<業種分	'類表 <i>></i>
製造	業
1. 食料品製造業	13. なめし革・同製品・毛皮製造業
2. 飲料・たばこ・飼料製造業	14. 窯業・土石製品製造業
3. 繊維工業	15. 鉄鋼業
4. 衣服・その他の繊維製品製造業	16. 非鉄金属製造業
5. 木材・木製品製造業	17. 金属製品製造業
6. 家具・装備品製造業	18. 一般機械器具製造業
7. パルプ・紙・紙加工品製造業	19. 電気機械器具製造業
8. 印刷・同関連業	20. 情報通信機械器具製造業
9. 化学工業	21. 電子部品・デバイス製造業
10. 石油製品・石炭製品製造業	22. 輸送用機械器具製造業
11. プラスチック製品製造業	23. 精密機械器具製造業
12. ゴム製品製造業	24. その他の製造業
卸売・小売業	運輸業
25. 各種商品卸売業	37. 鉄道業
26. 繊維・衣服等卸売業	38. 道路旅客運送業
27. 飲食料品卸売業	39. 道路貨物運送業
28. 建築材料,鉱物・金属材料等卸売業	40. 水運業
29. 機械器具卸売業	41. 航空運輸業
30. その他の卸売業	42. 倉庫業
31. 各種商品小売業	43. 運輸に付帯するサービス業
32. 織物・衣服・身の回り品小売業	
33. 飲食料品小売業	
34. 自動車・自転車小売業	
35. 家具・じゅう器・機械器具小売業	
36. その他の小売業	

(2)	卑古坐記の勘址五往し	な中央柱ナデコス	ノギキハ
(2).	貴事業所の敷地面積と	延床 田 傾 を こ 記 入	くにさい。

敷地面積 延床面積

- ③. 貴事業所の立地状況について、あてはまる全ての番号に〇印をおつけください。
 - 1. 集団立地(工業団地、流通団地内など) 2. 単独立地

3. 共同ビル、雑居ビル

4. その他(

④. 貴事業所の敷地の所有形態について、あてはまる全ての番号に〇印をおつけください。

1. 所有

2. 賃貸

3. その他(

⑤. 貴事業所立地場所の都市計画上の用途地域について、あてはまる全ての番号に〇印をおつけくださ い。

1. 工業専用地域

3. 準工業地域 4. 商業地域

5. 近隣商業地域 6. 準住居地域

- 2. 工業地域
- 7. 第1種、第2種住居地域
- 8. 第1種、第2種中高層住居専用地域

- 9. 第1種、第2種低層住居専用地域
- 10. 指定なし(都市計画区域内)
- 11. 都市計画区域外 12. わからない

- ⑥. 貴事業所が有する施設に全て○印をおつけいただき、その中で主な機能ひとつに◎印をおつけくだ さい。
 - 1. 製造機能
- 2. 販売機能
- 3. 営業・事務機能
- 4. 保管機能

- 5. 積み替え機能
 - 6. 荷さばき機能
- 7. 流通加工機能

- 8. その他(
- ⑦. 貴事業所の最寄りの幹線道路及び高速道路のIC(インターチェンジ)の名称をご記入ください。 次に、そこまでの距離及び所要時間をご記入ください。
 - 注1)幹線道路は、国道あるいは片側2車線以上の道路とします

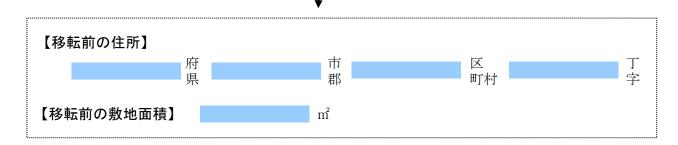
注2) 所要時間は、平日の昼間の自動車利用による平均時間としてください

- 1) 幹線道路 · · · · · · · 名称: まで 約 km・約 分
- 2) 高速道路の I C···· 名称: I Cまで 約 km・約
- ⑧. 貴事業所の現在の立地場所での開設年、立地区分等について、ご記入ください。

現在の立地場所での開設年・・・・・西暦

立地区分・・・・ 1. 新規の立地

2. 移転による立地



問2. 貴事業所への貨物の搬入・搬出状況についてお答えください。

- ①. 貴事業所における貨物の搬出・搬入の有無について、あてはまる番号に〇印をおつけください。
 - 注) 書類等は貨物に含みません
 - 1. 貨物の搬出(出荷)・搬入(入荷)ともにあり
 - 2. 貨物の搬出のみあり
 - 3. 貨物の搬入のみあり
 - 貨物の搬出・搬入ともになし

引き続き②にお進みください。

4.を選択された方については、これで 質問は終了です。

アンケート票をご投函ください。

②. 貴事業所の搬出入貨物について、主要品目別の平均的な1日あたり(平成17年9月の1ヶ月の営業 日1日あたりの平均)の貨物量等についてご記入ください。

注)輸出・輸入がない場合は輸出・輸入比率に「0」とご記入ください。

【搬出(出荷)貨物】



C. 原材料(部分品)·貯蔵品

- 2. パレットに積載
- 3. 鉄道コンテナに積載
- 4. 海上コンテナに積載
- 5. 上記以外のダンボールケース
- 6. その他(

【搬入(入荷)貨物】

品目 (表1の番号)	1日あたり の搬入量	1日あたり の搬入貨物 個数	1日あた りの搬入 回数	輸送時の 荷姿 (表 2 の番号)	製品 分類 (表 3 の番号)	輸入 比率 (重 _{量ベース)}
合 計	kg	個	口			割
1) もっとも多い品目	kg	個	□			割
2) 2番目に多い品目	kg	個	□			割
3) 3番目に多い品目	kg	個	□			割
1)~3)以外のその他品目計	kg	個	口			割

<表 1 品目分類表>

1. 農水産品(定温)	穀物、野菜・果物、その他の農産品、水 産品、畜産品、(加工品は除く)のうち で温度管理が必要なもの	11. 鉱産品	砂利・砂・土・石材、原油、天然ガス、 金属鉱、石炭、石灰石、その他の非金属 鉱
2. 農水産品(常温)	穀物、野菜・果物、その他の農産品、水 産品、畜産品、(加工品は除く) のうち で温度管理が不要なもの	12. 金属工業品 13. 一般機器	鉄鋼、非鉄金属、金属製品 一般機器
3. 食料工業品(冷凍)	冷凍保管が必要な食料工業品	14. 電気機器 15. 輸送機器	電気機器輸送機器
4. 食料工業品(定温) 5. 食料工業品(常温)	冷蔵保管や温度管理が必要な食料工業品 温度管理が不要な食料工業品	16. 精密機器	精密機器
6. 食料工業品を除く 軽工業品	紙・パルプ、繊維工業品	17. 窯業品	陶磁器・ガラス、セメント、生コン、そ の他のセメント製品、れんが・石炭・そ の他窯業品
7. 出版・印刷物	出版・印刷物		揮発油、灯油・軽油、重油、石油ガス、
8. 日用品	家具装備品・台所用品、衣料・身回品・ はきもの、文房具・楽器・玩具、運動娯 楽用品、医薬品、化粧品、その他日用品	18. 化学工業品	その他の石油製品、石炭製品、化学薬品、化学肥料、その他化学工業品
9. 日用品を除く雑工業品	ゴル製品 皮革製品 その他の製造工業 1		建設残土、金属くず、動植物性飼肥料、 その他の廃棄物、輸送用容器類
10. 林産品	原木、製材・その他の林産品・薪炭	20. 不明	不明

問3. 貴事業所の貨物車の発着状況についてお答えください

貴事業所の貨物車の発着台数と搬出入貨物量について、1日あたり延べ発着台数、搬出入貨物量及び積 載効率をご記入ください。

注) 積載効率は満載に対する平均的な積載量の比率で、積載効率=平均的な積載量/最大積載量×100 となります。

【貴事業所からの貨物車の発台数と搬出貨物量】

	車種区分			1日当たり 延べ発台数			積載効率	
	1日当たり合計			台		kg		
	海上コン	·テナ輸送車(トレーラ)		台		kg		
₩ H	鉄道コンテナ輸送車 (トレーラ)			台		kg		
営業用 トラック	1 車	最大積載重量5~以上		台		kg		%
	貸切	最大積載重量5~大満		台		kg		%
	混載便、小口集配車など			台		kg		
自家用 最大積載重量5 >>以上			台		kg		%	
トラック	最大積載重量5以未満			台		kg		%

【貴事業所への貨物車の着台数と搬入貨物量】

	車種区分			1日当たり 延べ着台数	1日当たり 延べ搬入貨物量		積載効率	
	1日当たり合計			台		kg		
	海上コン	⁄テナ輸送車(トレーラ)		台		kg		
₩ ₩ ₩	鉄道コンテナ輸送車 (トレーラ)			台		kg		
営業用 トラック	1 車	最大積載重量5~以上		台		kg		%
	貸切	最大積載重量5~2未満		台		kg		%
	混載便、小口集配車など			台		kg		
自家用 最大積		最大積載重量5~以上		台		kg		%
トラック	最大積載	最大積載重量 5 トン未満		台		kg		%

問4. 貴事業所の搬出入貨物の仕向先・仕出元の割合についてお答えください

貴事業所の搬出入貨物の仕向先・仕出元別の割合(重量ベース)を、ご記入ください。

地域	搬出(出荷)貨物の 仕向先別割合	搬入(入荷)貨物の 仕出元別割合
1. 貴事業所の所在地と同一の市区町村内	%	%
2. 貴事業所の所在地に隣接する市区町村内	%	%
3. (上記以外の) 同一府県内	%	%
4. (上記以外の) 近畿 2府4県(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)	%	%
5. 近畿以外の東日本(近畿2府4県以東)	%	%
6. 近畿以外の西日本(近畿2府4県以西)	%	%
7. 海外	%	%
貨物量合計	100%	100%

問5. 貴事業所の搬出入貨物の詳細な内容についてお答えください

すべての搬出入貨物について、搬出先・搬入元の市区町村、1日あたりの搬出量・搬入量、品目、輸送 手段等を搬出・搬入量(重量ベース)の多い順に右表へご記入ください。

- 注 1) 搬出先/搬入元の住所は、近畿 2 府 4 県内は市区町村単位(例:大阪府大阪市中央区)、近畿 2 府 4 県以外は都道県単位(例:東京都)でご記入ください。
- 注2)輸出入の場合は、相手先国名を都道府県の欄にご記入ください。
- 注 3) 主な品目は表 1 の品目分類表から(品目の詳細は 3 ページに示す表で御確認ください)1~20 の番号を選んでご記入ください。
- 注4) 主な輸送手段(最も利用距離の長い輸送手段) は表2の輸送手段分類表から1~11の番号を選んでご記入ください。

<表 1 品目分類表>

1. 農水産品 (定温)	6. 食料工業品を 除く軽工業品	11. 鉱産品	16. 精密機器
2. 農水産品 (常温)	7. 出版・印刷物	12. 金属工業品	17. 窯業品
3. 食料工業品 (冷凍)	8. 日用品	13. 一般機器	18. 化学工業品
4. 食料工業品 (定温)	9. 日用品を除く 雑工業品	14. 電気機器	19. 特殊品
5. 食料工業品 (常温)	10. 林産品	15. 輸送機器	20. 不明

<表 2 輸送手段分類表>

1. 営業用トラック	海上コンテナ輸送車(トレーラ)
2. "	鉄道コンテナ輸送車(トレーラ)
3. "	1 車貸切 最大積載量 5 トン以上
4. "	1 車貸切 最大積載量 5 トン未満
5. "	混載便、小口集配車など
6. 自家用トラック	最大積載量5トン以上
7. "	最大積載量5トン未満
8. 鉄 道	
9. 船 舶	
10. 航空機	
11. その他	

【①. すべての搬出(出荷)貨物】

順位	搬出(仕向)	先住所		1日あたり 搬出貨物量	主な品目 (品目分類 番号)	主な中継地名 (貨物駅・港湾・ 空港)	主な輸送手 段(輸送手段 分類番号)
1	都道 府県	市郡	区町村	kg			
2	都道 府県	市郡	区町村	kg			
3	都道 府県	市郡	区町村	kg			
4	都道 府県	市郡	区町村	kg			
5	都道 府県	市郡	区町村	kg			
6	都道 府県	市郡	区町村	kg			
7	都道 府県	市郡	区町村	kg			
8	都道 府県	市郡	区町村	kg			
9	都道 府県	市郡	区町村	kg			
10	都道 府県	市郡	区町村	kg			

【②. すべての搬入(入荷)貨物】

				1		1
順位	搬入(仕出)元佳	三所	1日あたり 搬入貨物量	主な品目 (品目分類 番号)	主な中継地名 (貨物駅・港湾・ 空港)	主な輸送手 段(輸送手段 分類番号)
1	都道 市 府県 郡		kg			
2	都道 市 府県 郡		kg			
3	都道 市 府県 郡		kg			
4	都道 市 府県 郡		kg			
5	都道 市		kg			
6	都道 市 府県 郡		kg			
7	都道 市 府県 郡		kg			
8	都道 府県 郡		kg			
9	都道 府県		kg			
10	都道 市 府県 郡		kg			

注)記入欄が足りない場合(仕向先または仕出元市区町村が10ヵ所以上ある場合)は、記入欄(本頁)をコピーのうえ、すべての貨物についてご記入ください。

問6. 貴事業所における搬出貨物の主な利用ルートについてお答えください

問5①の搬出量の多い上位3位までの仕向先について、それぞれの利用ルート、時間指定の状況等につ いてご記入ください。

	問5①の 搬出量1位の仕向先			問 5 ①の 搬出量 2 位の仕向先				問5①の 搬出量3位の仕向先					
高速道路利用の有無			なし		. あ		2. なし			1. あり 2. なし			
主な利用ルート													
(注1)		\downarrow			↓						Ţ		
	↓				↓				↓				
	↓			↓				↓					
		ı				ı					ı		
		*				•					•		
	↓			↓				↓					
	\downarrow			↓				↓					
<記入例>													
		<u></u>				\					Ţ		
国道 27号 I		ı									-		
→ <i>国道8号</i>		<u> </u>				+					+		
\	上 午前	ή _	I. A.		午前		f.			午前		m I.	
生物 医主题 单随敦賀 IC	^{出発} 午後	美		出発	午後			分	出発	午後		時	分
出発・到着時刻	到着 午前 午前		分	到着	午前 午後		時	分	到着	午前 午後		時	分
名神高速芸木/C 時間指定の状況 (右下の時間指定分類表から													
番号を記 定道 14 号													
時間指定状況	午前 午後	時	分から	午前 午後		時	分か	ら	午前 午後	f ,	時	£	から
(注2)	午前午後	時	分まで	午前午後		時	分ま	で	午前午後	Î	時	 S	まで
1日あたり延べ 搬出貨物車台数			台				台					台	

- 注1. 貴事業所から仕向(搬出) 先までの主な利用ルート(輸出の 場合は港湾や空港まで) として、高速道路名 (乗降 IC 名)、 国道名、主要地方道名、港湾名、空港名、貨物駅名をご記入 ください
- 注 2. 同一市町村の複数箇所で時間指定がある場合は、主たる仕向 先についてご記入ください

<時間指定の分類表>

- 1. 分単位で指定
- 1. カー版 で指定 2. 1時間単位で指定 3. 2~3時間の幅の単位で指定 4. 日のみ指定 5. その他

)

6. 時間指定なし

業務ご多忙中のところ、アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご記入いただきました アンケート用紙は、同封の返送用封筒でご投函くださいますようお願いいたします。